

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人全体の理念をもとに、地域密着型サービスの事業所としての独自の施設目標を理念に掲げている。</p>	<p>地域の方にも広く知ってもらうために努力する。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>事業所独自の理念をもとに、各々の目標を決め、達成の度合いを上長により判断している。</p>	<p>各々の目標を職員間で共有し周知徹底させる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>玄関、ホールの入り口で明示している。</p>	<p>家族会での家族の声を大事にしていきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>ご利用者様と施設周辺を散歩時などに挨拶や世間話をする。同一敷地内のケアハウス、デイサービスに時々お邪魔し交流を図っている。</p>	<p>色々の催し物の時に、地域の方にも参加して頂き交流を図る</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の小学生による訪問が予定されていた。(インフルエンザのため中止)</p>	<p>草刈、道の提供、施設敷地内に地域の皆様の為のポスト設置を協力。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ケアハウス・デイサービスとの合同コンサートを実施して地域の方を招待している。</p>	<p>介護予防教室やレク講習会など、職員だけでなく地域の方にも参考になるような内容の催し物をひらく。ケアハウス、デイサービス及び東雲棟との協力を基に今後もコンサート等を計画実施していきたい。</p>
<p>3. 理念を实践するための制度の理解と活用</p>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>ご利用者様、ご家族様、地域の町会長を始めとする住民の方、民生児童委員の方、包括支援センターなどの幅広い分野から参加して頂き、施設の取り組みや問題について話あう。</p>	<p>今後も全職員に結果報告を行い、より良質の支援を行っていききたい</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ご利用者様、ご家族様、地域の町会長を始めとする住民の方、民生児童委員の方、包括支援センターなどの幅広い分野から参加して頂き、施設の取り組みや問題について話あう。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市から相談員の派遣をうけるなどして連携をとり情報を提供している</p>	<p>災害時の市の協力体制について、詳しく話し合いたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会などには積極的に参加し情報を全職員にも徹底させている。成年後見人制度を利用されている方がいらっしゃるので、職員も制度について学んでいる。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ご利用者様に対するの尊敬の念を忘れず、拘束や暴言などの虐待はもちろん、普段の言葉遣いにも気を配り、職員間で注意しあうようにしている。全職員で接遇の訓練を行い、関わりあいの全てに接遇の大切さを生かしている。</p>	<p>今後も接遇を第一に行えるよう、職員全員で取り組んでいく。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>必ず書類を通して十分な説明を行い、読み合わせなどをしてご理解いただいている。サインを頂く。</p>	<p>現状の継続</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>派遣相談員を招きご利用様が意見を言える機会を作っている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>書面にての近況報告。常日頃から面会時などに報告、特に報告すべきことが起さればすぐに電話でお知らせする。</p>	<p>今後ご家族の変化は、即ご家族にご報告を行うことに努めていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人としてのアンケート。意見箱</p>	<p>面会時にご家族から職員へご意見を頂戴することが多く、普段から言いやすい鑑賞、聞く努力をしている。家族会を通じゆっくりとご家族と交流し、生の声を出来るだけ多く頂き現場作りに反映させていく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンス、毎日の申し送り、ミーティング時に意見を交換し、改善に反映させている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>

グループホームなごみ(茜)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>早出1名、日勤1名、遅出1名の3名体制にしている。</p>		<p>職員が必要な時には、早急に本部に連絡し、サービスに支障がないよう要望していく。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動・退職でご利用様様が不満や不穏を感じることはなかった。本年度は異動・退職はなかった。</p>		<p>なじみの関係崩れるので異動はない方が好ましい。今後も見守りと思いやりを徹底し、信頼関係の構築に努めたい。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研習を行っている。出席者が参加後資料を提出し、全職員に伝達している。申し送り時に挨拶の徹底や、「職場の教養」の朗読など継続的な活かし方を実施している。</p>		<p>今後も継続して実施していく。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会への参加。講習会への参加を行っている。</p>		<p>交流できる機会には、積極的に参加して、活動の中からより質の高いサービスを学んでいく。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>責任者が、職員の話をお聴いている。法人内で苦情申したて委員会を設けている。</p>		<p>職場を離れたら、リラックスできる時間を過ごしていく。</p>

グループホームなごみ(茜)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>カンファレンスの意見の中から、実施可能なことは実施してみて、その上で継続・変更し、意欲向上に努めている。ねぎらい、感謝の言葉がある。</p>		<p>職員の思いをよく聴き、できる範囲の考慮を今後も行っていく。</p>
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人の個別性を重視している。生活暦・生きてきた環境、性格、現在困っていること、欲していることをご家族・ご本人から情報を頂き、それにそえる努力をしている。</p>		<p>今後も継続して行い、初期の段階から信頼関係が築けるよう努力していく。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人の個別性を重視している。生活暦・生きてきた環境、性格、現在困っていること、欲していることをご家族・ご本人から情報を頂き、それにそえる努力をしている。</p>		<p>今後も継続して行い、初期の段階から信頼関係が築けるよう努力していく。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の幸せを重視し、介護支援専門員を中心にケアプランを作成し、統一した介護支援を行っている。他サービスの紹介、利用を行っている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前より、見学を実施し何度か来所いただいた後にサービスを開始している。</p>		<p>ご本人とご家族にあった利用開始を今後も継続していく。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>できる限りご本人の生きてきた環境、性格を理解し、共通の話題の提供を行っている。共感の中から支援している。昔の話を伺っている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>出来る限り、ご本人の今をご理解いただき、ご家族の協力頂きたい部分を参加協力いただけるよう報告を密に行っている。</p>	<p>ご家族の思いの傾聴に今後も努めていく。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>グループホームでの生活を随時お知らせしている、何か変化のあった時は、即ち連絡している。外出、外泊時のご様子をお話いただいている。</p>	<p>お便りを、最低月に一回は出している。お便りの中には、最近の写真を入れている。今後も継続していく。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会、外出の制限がないので、お友達等馴染みの方々が訪ねて下さっている。来ていただいた際は、ゆっくりしていただけるよう配慮している。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>ご利用者同士が話せるよう、職員が間に入ったり、お話がうまくいっている時に、その時間を大切にしている。共有できる時間作りに努力している。</p>	<p>ご利用者同士が、思いあい、いたわりあう関係ができている。今後もそれを大切にしてい</p>

グループホームなごみ(茜)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>やむ負えない事情で入院したり、老健へ入所されている方をお見舞い訪問し、お話を聞いている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者様の言葉や行動を真摯に受け止め、一人ひとりの希望や意向をしっかり受け止めるより、カンファを行っている。変化を見逃さないよう日々の気づきを職員で共有している。変化を見逃さないよう日々の生活への気づきを共有している。</p>		<p>利用者様本意の思いをきき出し、生活できるように皆で話合っている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご利用者様、ご家族様より直接聞いたり、会話の中から、情報を得て、カンファを通し、職員で共有している。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ご利用者一人ひとりについて、カンファレンス等で話し合い、現状の把握と情報の共有に努めている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の面会の時、現状を伝え、意向、意見を聞き、相談してケアに反映している。又、カンファで職員が意見を出し合い話し合っ計画を立てている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日のミニカンファ、毎月のミニカンファでご利用者の現状を話し合い、対応している。変化が見られる時は医師の指示を仰いでいる。必要に応じ見直している。		今後も継続していく。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カーインデックス、申し送りノートに個別に記録し、職員全員が共有し、実践している。		今後も継続していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出、外泊、面会、移送のサービスを通じ柔軟なサービスを行っている。		今後も継続していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員、ボランティア、月一回の市の派遣相談員の訪問を通じ、情報交換や協力を行っている。年二回、ケアハウス、デイサービスと合同で防災訓練を行い協力体制を築いている。近所へも連絡している。		今後も地域資源の活用を考えていく。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	外出の困難なご利用者様については、訪問理容サービスを受けている。		出張販売(パン等)などしてみたい。

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に包括支援センターに参加して頂いている。		今後も継続していく。
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日、看護師がご利用者の健康状態をチェックしている。状態により往診医に連絡対応している。		状態に応じ、受診している。今後も継続していく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	施設では、変化に対応できる受診支援を行っている。		一日一日状態が変わっていくご利用者様への対応に考慮している。今後も継続していく。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師に相談しアドバイスを受けている。訪問看護師は日々、ご利用者の健康チェックをしている。		個々の健康状態を見逃さない様に配慮していく。今後も継続していく。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	法人グループ内の医療関係者も含めて、入院時の医療機関とは情報交換を行っている。		今後も継続していく。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人、ご家族、往診医との話合いの中で、ご本人・ご家族の希望をききながら、相談を重ね方針を決めるよう努めている。職員も毎日心・身体を一日でも長く健康で過ごせる様、対応している。		今後も継続していく。

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	介護員が日々変化していくご利用者様に対応できるようにしている。		より一層の努力をしていく。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	可能な限りの情報を提供している。		今後も継続していく。
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員が、ご利用者様のプライバシーに配慮した言葉かけや対応を行うようにしている。		一人ひとりの気持ち、思いを大切にしていきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	普段のかかわりの中でご利用者が何を希望しているか把握した言葉かけを行うようにしている。		今後も継続していく。

グループホームなごみ(茜)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>スタッフの人数が限られているため、日によっては、厳しいときもあるが、ゆっくりと関わろう努めている。</p>		<p>仕事を優先してしまいがちにならないよう心がけ、一人ひとりのペースを大切に、日々の支援を行いたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人の希望する季節の洋服を、一緒に買いにでかけている。</p>		<p>美容師によるカットは今後も実践していきたい。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事のお手伝いができる方には、お茶くみ、簡単な盛り付けなどしていただいている。</p>		<p>今後できる範囲内(危険のない範囲)で実践していきたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>手作りおやつ感想やどんなものが食べたいかなど聞いて、個々が楽しめるよう支援している。タバコは吸わない。</p>		<p>行事(お誕生日会、ひな祭り、家族会など)を今後も取り入れて食材で季節を感じたり、お祝いしたり、嗜好を楽しめるよう支援したい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>失禁による不快感を最小限にするためにも、排泄パターンをつかみ声掛けし、トイレ誘導している。</p>		<p>一人ひとりの排泄パターンをつかみ、不快なく過ごせるよう支援していきたい。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低でも、週2回は入浴できるよう支援している。入浴嫌いの方には無理じいをしないよう言葉がけに注意している。		一人ひとりが入浴を苦痛に思わず楽しめるような場になるよう工夫したい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後、各々居室で自由に休息をとっている。		安眠できる環境づくり。(周囲の騒音、灯り等)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩、時代劇鑑賞(テレビ)針仕事、折り紙、塗り絵等一人ひとり関心がありことを自由に行わせている。		一人ひとりの趣味や特技を活かし楽しい時間を過ごせるよう支援したい。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフ側で管理している。		今後も継続していく。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩にでかけ、季節の変化を感じたり花つみ、コミュニケーション等を楽しめるよう支援している。グループホーム、デイサービスへの催しものに参加している。地域へでかける。		ご家族の協力が得られる方は、ドライブ、外出、外泊ができるが、事業所の中だけで過ごされている方に対しては、ドライブに出かけた後、外の刺激を与えられるようにしたい。

グループホームなごみ(茜)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族と一緒に外出、外泊されるご利用者様はよいが、他のご利用者様は淋しい思いもある。どんなところへ行けるか難しいところもある。ご家族と理髪店にでかけることがある。		どんな場所に行けるか、ご利用者様のお身体の状態にあわせてご家族様と話し合っていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からお便りがきているご利用者様は嬉しそうお話される。手紙のやりとりが自由にできるよう対応している。電話の要請があれば、対応している。		ご家族様がお見えになった時うれしそうなので、今後も継続していく。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に時間を設けず、家族や友人などいつでも訪問できるようにしている。居心地よく過ごせるよう、挨拶、お茶の用意等配慮している。		月に1回は変わる掲示版の写真を見ていただいて、施設の様子を知っていただいている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。		目配り、気配りして拘束はしない。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はついていない。外部との出入り口(玄関)は世相の安全上、鍵をかけている。		今後も継続していく。

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1時間ごとに所在を確認して人数を確認している。夜間は状況を確認しやすい位置に待機している。		職員がその場を離れる際もお互いに声を掛け合っている。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個別に対応して、お任せしている方、保管管理をしている方がいる。ご利用者様各々に応じた方法を常に話しあい、決定し職員が理解している。		今後も継続していく。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	安全なくつに変更した。ふらつき、転倒しやすい方に常に気を配っている。法人全体として、ヒヤリハット、インシデント・アクシデントレポートを共有し対策を講じている。		今後も継続していく。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	発生時を想定して、日を決めて訓練している。		今後も継続していく。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同一敷地内にある、ケアハウス、デイサービスと合同で防災訓練を行っている。		今後は地域の方々の応援が得られるように、協力体制を作っていく。
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	訪問診療の医師がご家族と十分な話し合いを行い、リスクのないよう努めていきたい。		ご家族の理解を深めていきたい。

グループホームなごみ(茜)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>訪問診療の医師、あるいは看護師に常時相談を行っている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の目的、副作用、用法、用量については、薬の変更がある度に学び、理解している。誤薬がないよう注意を払っている。また日常の変化を訪問診療の医師に伝え服薬調整を行っている。</p>	<p>訪問診療の医師、看護師の指導の元、支援していく。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便通を促す食事、散歩等で体を動かすことに気を配っている。</p>	<p>今後も食事、お茶菓子のメニューを工夫していきたい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の歯磨き、週1回のポリデントを、各々の状態によって介助の方法を変え、行っている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランス、水分摂取量に注意している。お茶以外の時間にも水分が摂れるよう、冬は煎茶、夏は麦茶を用意している。</p>	<p>訪問医師と連携していく。</p>

グループホームなごみ(茜)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ご利用者様の食事前の手洗いと排泄後の手洗い、職員の飲食前の手洗い、ご利用者様の排泄介助後の手洗い、汚物、吐物処理後の手洗い、リネン類の消毒、一日2時間の換気。		法人内で指導があり実施している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の消毒、冷蔵庫内の消毒、生野菜を出す場合は塩素消毒を行っている。		今後継続して実行していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関内は物を置かずに広々としている。玄関外は緑のものやお花を置いたりして親しみやすくしている。暮らしの場所として威圧感の無いようにしている。		建物の周辺にも花を植え家庭的な雰囲気が持てるように配慮している。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには生け花や観葉植物を置き、廊下の壁には、季節に合ったのれんを掛けるなど、落ち着いた雰囲気にしている。		今後も継続、実行していく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースの中にソファを置き、一人でも気の合った利用者様同士で利用できるようにしている。		精神面も考慮し、座る場所に気を配っている。

グループホームなごみ(茜)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を活かして、その人らしく過ごせる部屋にしている。昔から使い慣れた物を置いている。</p>		<p>花を飾ったり写真を置いたり、本人の好みを大切にしながら環境作りをしている。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>一人ひとりの状態や反応を見ながら、自然に近い換気や空調に心がけ、体調の乱れや気分から落ち込まないようにしている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりに合った器具を利用している。</p>		<p>変化にできるだけ早く対応する。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>不安や混乱を招かないように配慮して、繰り返し説明し不安を取り除くようにしている。</p>		<p>認知度変化になるべく早く対応する。</p>
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>外周に花を植えてあり、草取り、水遣り、花摘みをして楽しんでいただいている。</p>		<p>今後も活用していきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

グループホームなごみ(茜)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に つけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の
		利用者の2/3くらいの
		利用者の1/3くらいの
		ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある
		数日に1回程度ある
		たまにある
		ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と
		家族の2/3くらいと
		家族の1/3くらいと
		ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように
		数日に1回程度
		たまに
		ほとんどない

グループホームなごみ(茜)

項目		取り組みの成果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症の方にとって最も大切なことは「この場所は安心の場であり、この人は安心を与えてくれる人である」と感じていただくことだと考えています。室内外に緑や花を多く配置し、暖簾などで季節感を出すことによって、潤いと癒しと和みを感じながら、優しさのあふれる環境の中で生活していただけるよう心掛けています。そしてひとつひとつの接遇を大事にすることで、いつも大切にされているという心地良い幸せを感じていただけるよう、日々のかかわりに努めています。安心して暮らせる日常の場を提供することはもちろんのことながら、なによりもおひとりおひとりの心を大切にすることが重要だと考えています。

またご家族に日々の様子を知っていただけるよう、毎月の状況をお知らせする通知をお送りしたり、おひとりおひとりにアルバムとノートを作り来られたときに見ていただいたりしています。ご家族にとっても様子がわかることが安心して利用されることになることから、ご家族と情報を共有して支援させていただくことを心掛けています。

さらに往診診療と訪問看護を活用することにより、これまで以上の安心を提供できるようになりました。